

新・がんばる商店街77選 選定事例一覧



「いわない楽座」

1

北海道 岩内町

いわないちょう

岩内町名店街

●「楽育&寿」2つのコミュニティとゆるキャラで商店街活性化

岩内町名店街協同組合では、商店街の空き店舗を活用し、多機能コミュニティスペース「いわない楽座」を設置。地域の特産品を扱う「アンテナショップ」、高齢者向けコミュニティスペース「寿コミュニティ」、子育て支援に特化したコミュニティスペース「楽育コミュニティ」等を運営し、商店街の活性化を図っている。

2

北海道 室蘭市

わにし

輪西商店街

●コンパクト化で蘇った「鉄のまち」の商店街

かつて「鉄のまち」として栄えた輪西地区の商店街を再生するため、商店街が中心となって中心部に輪西のお茶の間づくり(「暮らしの広場」構想)を推進。複合商業施設「ぶらっと。てついち」には、地元スーパーを核に16店舗が入居するほか、子育て支援施設「ワニワニクラブ」を設置。また、エコ商店街としての取組などにより、様々な交流が生まれ、「鉄のまち」を支える商店街が復活。



「ぶらっと。てついち」

3

北海道 白老町

しらおいおおまち

白老大町商店街(NPO法人白老消費者協会)

●消費者協会が、商店街に新たな風を

消費者協会が商店街の空き店舗を活用し新規出店。高齢者の憩いの場、農商工連携による地元農水産物のアンテナショップ、環境・リサイクルコーナーの設置・運営、観光客向けの情報発信等により、商店街の活性化に一役買っている。



「白老消費者協会内のアンテナショップ」

4

青森県 弘前市

したどてまち

下土手町商店街

●資源リサイクルを構築・運営している商店街

商店街振興組合の有志組合員(個店)が「弘前下土手商店街古紙サイクル協議会」を組織し、参加個店との連携のもと、可燃ごみとして輩出していた段ボールや新聞紙、雑誌などの紙類を分別し、資源として回収する「古紙リサイクルシステム」を構築・運営。



「古紙のリサイクルに取り組む下土手町商店街」

5

岩手県 花巻市

とうわまちつちざわ

東和町土沢商店街

●美術館と住民が連携し、まちなかアートでにぎわいあふれる商店街

商店街の交流人口の増大と活性化を図るため、花巻市、土澤まちづくり会社(旧TMO)、萬鉄五郎記念美術館及び住民参加により、商店街全体を美術館に見立て(まちかど美術館事業)、空き店舗などを活用したまちなかアートを展開。



「街かど美術館の様子」



「イベント告知や商店街マップを盛り込んだ新しいタイプの新聞回収袋(恋袋)」

6

宮城県 石巻市

アイトピア商店街・橋通り商店街

●エコイベントで活性化する商店街

商店街に活気を取り戻したい！という思いで両商店街が合致。商店街とお客さまが一緒となった商店街づくりを目指し、商店街とお客さまと一緒に取り組むことができる「エコ」と「レトロ」の二本をテーマ(「街に恋(こい)祭り～ええコト(eco)しよう! 石巻」)に、新たな取組を行う商店街。



「志津川おさかな通りの様子」

7

宮城県 南三陸町

しづがわ

志津川おさかな通り

●水産資源と地域ネットワークを活用して活性化する商店街

親潮と黒潮が交わる三陸沖の志津川湾の豊富な水産資源を広くPRするとともに、「志津川おさかな通り大漁市」や「南三陸志津川寒鰯まつり」などのイベントの実施や観光事業とも連携し、地域の特色を活かした他の商店街にない商店街づくりに取り組んでいる。

8

秋田県 大館市

大町商店街(ゼロダテ)

●アートをテーマに回遊性向上を目指す商店街

地元出身のアーティストがアートユニット「ゼロダテ」を組織、空き店舗を活用した街なか美術館を提案。市民ボランティアや商店街、若手アーティストが連携したアート・イベント(ゼロダテ/大館展)により、商店街の回遊性を高め、市民が身近に芸術に親しむ機会を提供。「ゼロダテ」は、春の東京展、夏の大館展、冬のアメッコ市展など通年を通して活動を展開している。



「空き店舗を活用したアート展」

9

山形県 鶴岡市

つるおかさんのう

鶴岡山王商店街

●「山王まちづくり憲章」の理念のもと、より美しく、住みよい山王を掲げる商店街

商店街の賑わい創出のため、山王ナイトバザールは、5月から10月までの第三土曜日に開催されている。庄内地方の名産品の直売、有志によるフリーマーケット、スタンプラリーやゲーム等が行われ、市内だけではなく県外からの来街者も集め、毎回の賑わいをみせる。「山王まちづくり協定書」を策定するなど、意欲ある商店街。



「山王ナイトバザールの様子」

10

山形県 長井市

もとまちおどおり

本町大通り商店街

●もとまち青空フェスティバル

まちなかに市民を呼び戻そうと地元商店街、商工会議所等が市民参加型の商店街活性化イベント(もとまち青空フェスティバル)を開催。その後、長井市では様々なイベントが行われているが、その先駆けとなる。また、地域循環システム普及・促進による「安心・安全」な街づくり、健康・健全な街づくりにも取り組んでいる。



「幼稚園児から大人までが楽しめる”音楽&パフォーマンス・ビンゴ大会”の様子」



一店逸品運動「逸品発見！お店回りツアー」

11
福島県 いわき市

いわき駅前商店街

●**商業者中心のプロジェクトチーム組織により、コンパクトシティを推進**
駅前再開発ビルのオープンを機に、官民一体となった「いわき駅前賑わい創出協議会/コンパクトシティ推進PT」を立ち上げ、ハード施設に街としての命を吹き込むソフト事業を展開。PTには4つの部会を立ち上げ、「一店逸品運動」、「街なか空き地・空き店舗有効利用」、「街なか情報発信」などコンパクトシティの実現を目指す。



「北条ふれあい館岩崎屋」

12
茨城県 つくば市
ほうじょう
北条商店街

●**米(マイ)コミュニティ構想**
筑波北条米という地域資源を活かし、人とモノの交流による街の活性化を目指し、地元住民・店主と大学生(筑波大)との連携により、新しい事業(北条市・北条米(マイ)スクリームなど)を展開し、地域の魅力を発信している。また、商店街と地域住民のコミュニティ形成をめざし、筑波北条米を担保とした米本位制の地域通貨「マイス」を発行、流通実験にも取り組む。



「地元大学生の運営によるチャレンジショップ」

13
栃木県 鹿沼市
つーわん
まろにえ21

●**「よそ者・若者」も取り込み、商店街と連携した町づくりにチャレンジ**
地元大学との連携により、駅前商店街を活用した通年営業のチャレンジショップを開業。地産地消の飲食店、新名物「にら焼きそば」などを提供。「よそ物・若者」を取り込み、地元商店街のバックアップによりチームワークを活かした街作りを行っている。



「賑わう下町夜市の様子」

14
群馬県 館林市
したまちどおり
たてばやし下町通り商店

●**イベントから生まれる交流により、新規創業者の創出と地域の活性化**
空き地を活用した「下町夜市」での交流(チャレンジショップ事業など)は、新規創業者の創出に貢献。「夜市」の開催、商店街で開設した「したまちパオ」(地域の寄り合い所)の運営などにより、地域住民のコミュニティ創出の場として機能している。



「アっいうまに人がポコポコ集まる街 アポポ商店街」

15
埼玉県 入間市
アポポ商店街

●**地域との強い連携でにぎわいづくり**
近隣の大型店と隣接商店街とで構成する「いるまんなか協議会」、大学(駿河台大学)や地元の団体との連携で多彩な事業を展開。単なる商店街のイベントではなく地域イベントとして成り立たせ、商店街の賑わいづくりを展開。



「稲毛あかり祭り～夜灯(よとぼし)～の様子」

16
千葉県 千葉市
いなげ
稲毛せんげん通り商店街

●**「稲毛あかり祭り～夜灯(よとぼし)～」の継続が地域コミュニティの再生に貢献**
「稲毛あかり祭り～夜灯(よとぼし)～」。半農半漁のまちであった頃に行われていた遊びの漁「夜灯しの漁」をモチーフに、イベントの準備段階から地域住民(大学生・町内会・ガールスカウトなど120の地域団体)と連携・協働し、手作り燈籠でまちを照らし、地域コミュニティの形成を育む取組を展開中。また、商店街の取組も、一店逸品運動、地域の安心・安全に向けた取組など幅広い。



「昔ながらの鳩の街商店街」

17
東京都 墨田区
はとのまちどおり
鳩の街通り商店街

●**商店街のアートスポットから地域の魅力を情報発信**
昔懐かしい建物が点在し、昭和の面影を色濃く残す商店街であり、芸術や建築関係者の人気を集めている。昔ながらの商店に加え、木造長屋を改装したカフェや工房ショップが人気を集め、地域の魅力を発信しながら地域に活気を与えている。



「とごしぎんざのアーチと子供に大人気の銀ちゃん」

18
東京都 品川区
とごしぎんざ
戸越銀座商店街

●**商店街のオリジナル商品開発が大成功**
全国で初めて商店街のオリジナルブランド商品の開発を行い、ヒット商品を次々と生み出した。日本一住みやすい街を目指して地域に根ざした取組を継続した結果、平日でも賑わいあふれる商店街が復活した。また、新たに大学生とタッグを組んで「コロッケの街づくり」にも挑戦している。



「ヨルイチに賑わう商店街の風景」

19
東京都 あきる野市
いつかいち
五日市商和会(ヨルイチ実行委員会)

●**昔なつかしい「市」(ヨルイチ)の再現と地域資源を活用して魅力度アップ**
「古」「静」「暗」「スロー」「和」などをテーマにした昔懐かしい「市」を再現。人を集める事が目的ではなく、また、当日に「モノ」を売るのも目的ではない。ヨルイチ以外の364日の経営のために、毎年テーマを決めてヨルイチは開催されている。



「趣向を凝らしたイベントで賑わう鶴見銀座商店街(ベルロードつるみ)」

20
神奈川県 横浜市
つるみぎんざ
鶴見銀座商店街

●**多彩なイベントで地域住民を巻き込みにぎわい創出**
約10年の歳月をかけ、イベント事業を軸としたスタッフの育成と仕組みづくりを進める。この結果、少人数・短時間で企画する毎月のユニークなイベントで毎回多数のお客さんを集める。子供達が商店街活動に関わることで地域への愛着が増し、商店街が身近な存在となっている。



「アーケード改築中の上古町商店街」

21
新潟県 新潟市

かみふるまち
上古町商店街

●**街なかサロン、まちづくり情報拠点など地域コミュニティと空き店舗解消に取り組む**
上古町商店街振興組合は、2006年3月、4つの商店会が一つになって発足。組合は、振興というより街づくりの性格及びソフト面の独自性が強い。特に空き店舗対策では、入居希望者、不動産業者、家主の間に入り調整。家賃相場の安さや歴史を背景にした商店街全体のブランド力で入居希望者は待ちの状態。全店舗の35%が若者の店。



「城下町高田花ロード」

22
新潟県 上越市

たかだほんちょう
高田本町商店街

●**商店街を舞台とした「城下町高田花ロード」の開催**
花いっぱいの城下町の再現を目指し、花をモチーフにした作品を公募し、商店街の軒先や基盤状の道筋をその花の作品で飾るイベントを実施。地域のコミュニケーションの広がりを獲得し、人が花を結び、花が人を結ぶ上越市の秋を彩るイベントとして定着。



「カラフルなテントが立ち並ぶ“なりひら風の市”」

23
富山県 富山市

かみしんまち
上新町商店街

●**商店街の真ん中に生まれた障害者就労支援の場**
全国的に有名な「おわら風の盆」期間以外のにぎわい創出が課題。このため、障害者の経済的基盤づくりを考えていた社会福祉法人と商店街が連携し、空き店舗を活用したコミュニティ施設「工房風のたより」(街なかの障害者就労支援の場)、観光物産館「風の館なりひら」、定期市「なりひら風の市」で通年のにぎわいを創出。



「最新クラフトショップ “D. front”」

24
富山県 高岡市

たかおかしちゆうしん
高岡市中心商店街(末広開発株式会社)

●**高岡版家守事業で空き店舗再生**
まちづくり会社が、高岡市、高岡商工会議所と連携し、高岡版家守事業(大家に代わり入居者の誘致や育成、マネジメントを行う)で空き店舗の再生に取り組む。本格的な空き店舗再生事業である高岡版家守事業の第一弾として、高岡のものづくり文化を反映した、国内外で評価の高い最新のクラフトを扱うアンテナショップをオープン。



「近江町再開発事業 完成間近」

25
石川県 金沢市

むさしちく
武蔵地区商店街

●**武蔵に四つ葉を育て、りっぱな花を咲かせよう**
近江町再開発事業(近江町「いちば館」など)、広場や通路等のハード整備を契機として、近隣のマンション新住民を新たに呼び込んだり、更なる活性化を図るため、地域ぐるみで組織(「武蔵にぎわいラボ」)を立ち上げるなど、にぎわいの創出、再生へ取り組んでいる。



「山中温泉南町ゆげ街道」

26
石川県 加賀市

やまなかおんせんみなみちよう
山中温泉南町ゆげ街道

●**観光・漆器産業との協調による、歴史と文化に出会えるまちづくり**
地域の観光資源である温泉と漆器産業との協調により、山中漆器を中心に一店舗2業種事業(例えば、「山中漆器と加賀漬物」、「オルゴールと山中漆器」など)を展開し、個店の経営努力で魅力の向上、地域の魅力発信に積極的に取り組む商店街。



「小浜駅通り商店街 “通称はまかぜ通り商店街”」

27
福井県 小浜市

おばまえきどおり
小浜駅通り商店街

●**話題性を活かした多彩な活動による商店街の活性化**
「市民参加で、人の集まる商店街を！」を合言葉に、多彩な活動(旅館を改装した商店街活動拠点「はまかぜプラザ」、社会福祉協議会や医療専門学校生と連携したイベント「やさしさいっぱい！まちなか夢通り」、期間限定みやげ物屋「若狭屋」...)を展開し、商店街の活性化に取り組む。



「壱の市で賑わう様子」

28
福井県 越前市

えちぜんし
越前市まちなか商店街

●**4つの商店街の連携によるまちなかの活性化**
「蔵の辻」周辺の4つの商店街が「まちなか商店街」を結成し、昭和浪漫をテーマとして定期的に開催され、賑わっているイベント「壱の市」と連携して来街者が商店街を回遊する事業(無料休憩所、まちなかサロンの開設など)を実施。また、観光客等に地元の情報を発信する「まちなかプラザ」の運営にも協力。



「身延駅前しょうにん通り商店街の様子」

29
山梨県 身延町

みのぶえきまえ
身延駅前しょうにん通り商店街

●**「平成の古都」と名付けられた美しい和風の街並み**
「平成の古都」と名付けられた美しい和風の街並み。個人的な利害よりも街の将来像を優先させようという住民の思い(統一した街並みの形成を目指し、住民どうしの紳士協定として「和風」をコンセプトに10項目の建築申し合わせ)が、街づくりを成功させ、商店街の活性化に結びついた。

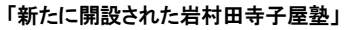


「つれてってカード」

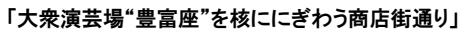
30
長野県 駒ヶ根市/飯島町/中川村

駒ヶ根市周辺3市町村内商店街(つれてってカード)

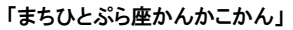
●**全国初、商店街カードと行政・金融が連携し地域貢献**
全国初、商店街カードと行政・金融と連携して地域貢献。ICカードによる電子マネーからスタートし、住基カードとの連携で商業振興から地域貢献に寄与。地域を越えたカード展開で消費者への利便を追求。さらに、近接する伊那市で同様に展開する「い〜なちゃんカード」とも利用提携開始。伊南4市町村全てで利用者がどのカードでも共通ポイント・プリペイドサービスが享受可能となった。



「手作り・手仕事・技の街。地域と共存し、共に生き、働き、暮らす街をつくる」をコンセプトに、商店の利益より地域住民の利益を考えた地域密着顧客創造型商店街。最近では、子育て支援と空き店舗活用の一環として、地元の学習塾に運営を委託、「自主学習ができる子供を育てる」をコンセプトに「岩村田寺子屋塾」を開校。地域貢献に積極的に取り組む。



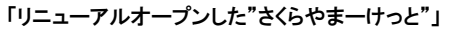
商店街の活性化を担うキーパーソンが率いる広域商店街。新たな組織体制の構築(5つの委員会による役割分担と責任の明確化)や個店の魅力向上(有料参加による実践セミナーの開催)などに次々と着手。新生柳ヶ瀬を目指し、大衆演芸場「豊富座」を核に商店街の活性化を目指す。



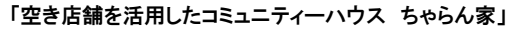
「まちひととら座かんかこかん」は、連合会が行政・NPO団体や市民グループと協力して運営することにより、子育て支援や情報発信、交流の場として定着しており、また、買い物客や観光時における児童の一時預かりといった各種コミュニティビジネスの試みがなされるなど、まちのコミュニティ機能を担う、商店街の新たな取組として実績をあげている。



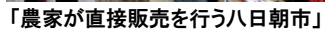
「チャレンジショップ・吉商本舗」、地元商業高校商業ビジネス部とNPO法人の協働で運営する常設店舗は、全国的にも高校生がチャレンジショップのトップ・ランナー。高校生が商店街で部活動として「駄菓子屋」を運営、多くの若者が多様な主体として街を盛り上げている。また、高校生に職業観を育成するために販売実習やオリジナル商品開発等の講義も担当する。



大学や地域団体との連携により、地域に根ざした“縁側の”な商店街づくりを目指す。地域コミュニティ機能の担い手としての役割を果たすとともに、シンボルマーク(さくらっぴー)の作成・活用、「さくらやまーけっと」などにより商店街のブランド化を図る。



商店街活性化を目指し、商業者自らが空き店舗解消のために活動、魅力ある店舗（「鉄道模型カフェ浪漫」）や施設（「ほんまちサンプラザ」（ボックスショップ）、「ちゃらん家」（コミュニティハウス）、「本町たいよう保育園」（24時間子育て支援施設））が次々と開設。新たなコミュニティを創出している。



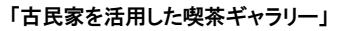
地産地消にこだわった「八日朝市」で賑わいを創出、桜のデザインをあしらった統一ファサードや商店街名の入った統一看板、統一ロゴ、タペストリー設置など、徹底した景観整備で、歩いて楽しい街づくりを目指した取組を行っている。



子供に経済概念を学ばせ生きた勉強ができる「こども四日市」により社会体験の場を創出し、商店街が地域コミュニティの役割を担うとともに、商店街活動に参加しにくい夜の飲食店が一丸となって「はしご酒ストンプラリー」の実施による顧客確保・個店の利益につながるよう工夫した、話題を呼ぶ、特徴的な取組を行っている。



「ユニバーサル・デザインのまちづくり宣言」をきっかけに、福祉に取り組む商店街。社会的弱者にやさしい商店街を目指し、地域住民の福祉への理解を広げつつ、福祉事業（バリアフリー化、「ふくふくまつり」、「ふくふくカード」等）に重点的に取り組んでいる。



地域資源「歴史文化(多賀大社の門前町)」、「古民家」、「多賀そば」そして「学生との連携」、「農商工連携」など地産地消のまちづくりに取り組む。「笑う門には副来たり」の意味を込めた「笑門」を商標登録し、地域の魅力を発信している。



「おこしやすsanjoねこバック(エコバック)」

41
京都府 京都市

きょうとさんじょうかい
京都三条会商店街

●地域に支持される商店街未加入ゼロの商店街

スタンプ事業(リボンスタンプ)を柱に、地域の買い物客の取り込みで地域の支持される商店会未加入ゼロの商店街(平成19年には、商店街の加入店舗100%達成)。リボンスタンプのポイントと交換入手できるエコバック(おこしやすSanjoねこバック)など作成し、「環境にやさしい商店街」を目指す。また、地元の大学等と連携した子育て支援にも取り組む。



「地域子育てステーション”ばおばおの家”の様子」

42
京都府 京都市

ふしみおおすじ
伏見大手筋商店街

●子育てステーション「ばおばおの家」開設、地域コミュニティと商店街の活性化

空き店舗を活用して、地域子育てステーション「ばおばおの家」を開設し、地域の若い親同士が気軽に集える場を提供。地元大学と連携し地域コミュニティの核施設「コスモス」を開設し、商店街の賑わいの創出と地域コミュニティの構築に寄与。



「長屋を改装した商業施設『惣(そう)』」

43
大阪府 大阪市

からほりちく
空堀地区商店街(からほり倶楽部)

●老朽化した長屋の再生をととして、まちの魅力を再発見

大阪市の中心部にある空堀商店街界隈に残る古い長屋や町家を、チャレンジショップなどが入居する商業施設などに再生することととして、地域住民の「まちに対する誇り」を喚起し、まちを活性化している。また、アーティストが街中に作品を展示するイベント「からほりまちアート」を毎年開催し、多くの来街者を惹きつけている。



「千日前道具屋筋商店街の様子」

44
大阪府 大阪市

せんにちまえどうぐやすじ
千日前道具屋筋商店街

●大阪の賑わい創造の主役として、大阪の文化・楽しさ・夢を売る商店街

大阪の賑わいの主役として、大阪の文化・楽しさ・夢を売る商店街。「道具屋筋ならでは・・・」の特徴を活かし、大阪の「笑い」、「食」、「商い」という3つの文化を学べる「大阪商い体験」を実施、地域の活性化、賑わいづくりに貢献。特に、「商い」では、商店街講座、あきんど・丁稚体験、実演販売体験などさまざまな体験学習を通じて、大阪商人魂を学べる。



「サンロード瓢箪山の入口アーチ」

45
大阪府 東大阪市

ひょうたんやま
スマイル瓢箪山

●地元密着！地域住民とともに歩む商店街

4つの商店街等の組織からなる連合体「スマイル瓢箪山」が、地元の大学と連携して商店街を舞台にこどもたちが活躍できる場(「瓢箪山探検隊」、「瓢箪山ちびっこみこし」)を創出したり、また高齢者向け宅配便事業や「ひょうたんから逸品」事業を実施するなど、地域住民に愛される、地域に密着した商店街を目指す。



「世界一巨大なアニメキャラクターオブジェ”鉄人28号”がこの夏完成」

46
兵庫県 神戸市

しんながたちく
新長田地区商店街

●「大人が3時間楽しめる街」を目指したまちづくり

「大人が3時間楽しめる街」を目指したまちづくりを展開中。震災による壊滅的な被害から、商業者自ら掘り起こした地域資源(「ぼっかけ」、「鉄人28号」など)の活用により、まちの魅力を発見・創造・発信してまちを活性化。



「これがカバンの自動販売機！」

47
兵庫県 豊岡市

よいだ
宵田商店街

●地元の特産品である「かばん」をアイテムとした商店街活性化

豊岡の地域資源である”かばん”をアイテムとした商店街を活性化！ 商店街を「カバンストリート」と位置付け、商店街の若手で検討・開設したギャラリー「カバンステーション」を核に、“かばん産地豊岡”の情報発信。そのほか、自動販売機でオリジナルのかばんを販売するなど、他に例を見ない活動も行っている。



「フレッシュマートオーケストの様子」

48
奈良県 奈良市

なら
奈良もちいどのセンター街

●商業インキュベーター施設などの拠点整備により、まちの賑わいに貢献

商店街が、商業インキュベーター施設(「もちいどの夢CUBE」)を開設したり、地元で不足していた食品系スーパーを大型空き店舗を活用し誘致(「フレッシュマートオーケスト」)することにより、商店街を活性化。商店街の通行量が3割増加。



「地元の大学生が実施する”青空市”で賑わう天理本通商店街」

49
奈良県 天理市

てんりほんどおり
天理本通商店街

●「年中夢中！てんりストリート」でまちづくり

地元の大学と連携し、商店街の賑わいづくりの拠点として空き店舗を活用して「てんだりーcolors」を開設。商店街マップの作成やイベント企画・実施、大学のサテライト講義を行うなど、商店街に若い力を取り込み活性化を目指す。また、「中心商業活性化実行委員会」は、商店街と地元大学が初めて連携した取組で、商店主らとの意見交換により新たな雰囲気を作られつつある。



「教育助成券を付与したポイントカード”イルカカード”」

50
和歌山県 田辺市

たなべしな
田辺市内商店街

●「安全・安心、歴史と伝統ある商店街」を地域住民や若い経営者に継承

「安全で安心な街、歴史と伝統のある商店街」を地域住民や若い経営者に残すため、商店街が連携して取り組む。今年のテーマを「個店、商店街のファンづくりと商いは心から」として、商店街が連動して活動。また、ポイントカード(イルカカード)による販促事業に、教育振興の目的とカードの利用促進を図るため、「教育助成券」を追加した。



「シロウオ祭りの風景」

51

和歌山県 湯浅町

ゆあさちょうない

湯浅町内商店街(湯浅町TMO)

●住民との協働による、身の丈にあった手作りのまちづくり

商店街・自治体と地元街並み研究会、和歌山大学等が連携し町並みの景観整備に努め、平成18年に、北町・中町・鍛冶町の町並みが重要伝統的建造物群保存地区の選定を受ける。これらの地域資源を活かしながら、伝統的なシロウオ漁の復活、回遊マップの作成、語り部育成など地域住民との協働による身の丈にあった手作りの町づくりを実践。



「第1回DARAZトライアスロン世界大会」

52

鳥取県 米子市

もとまちどおり ・ ほんどおり

元町通り商店街・本通り商店街

●「市」と「KIHACHI祭り」で、商店街に賑わいを

おかみさんパワー(「プロジェクト米子」とDARAZ精神(独創性・チャレンジ精神)で商店街を舞台に、商店街を元気にする「市」(戸板市)や「祭り」(KIHACHI祭り)を開催。地域の魅力を発信し、多くの出店者と来街者を集め、賑わいが回復。



「福の神に会えるまちづくりを推進する”あきない中心倉”の会長」

53

鳥取県 倉吉市

ほんまちどおり

本町通商店街(あきない中心倉)

●福の神にあえる街「あきない中心倉」

賑わいの回復を目指し、地元の商店主グループが「あきない中心倉」を設立。周辺地域の歴史や文化を掘り起こし、地域資源として再生・活用。「福の神に会える街づくり」を推進し、それぞれの店舗に木彫りの「福の神」を設置、福の神に関連した事業を展開し、地域の魅力を発信。観光客の誘客と商店街の活性化に取り組む。



「老舗旅館を改装した”蓬莱荘”」

54

島根県 松江市

まつえ

松江まちづくり株式会社

●松江の歴史と文化を感じさせるまちづくり

昭和初期の趣を残した和風旅館(蓬莱荘)をリニューアルして、松江の食文化の情報を発信する新たな観光スポットとして再整備。レトロな空間として松江文化(茶・食)の発信地への転換を図り、新たなまちの魅力で商店街の活性化を図る。



「セタフェスタの様子」

55

島根県 浜田市

こんやちょう

紺屋町商店街

●人に優しい対話のある街を目指して～空き店舗がなくなった～

地域住民の声を反映し「人にやさしい対話のある街」を商店街のコンセプトに、環境整備(レトロ街路灯、商店街の美化、さわやかトイレの整備)、通年を通したイベントの開催、高齢者向け宅配サービスなど各種の事業を重ね、商店街の知名度、認知度向上。この結果、空き店舗がなくなった。



「表町商店街の様子」

56

岡山県 岡山市

おもてちょう

表町商店街

●商店街の個性発揮と大型店との連携で商店街を活性化

八カ町の各商店街が独自のイベント事業や協同事業に取り組むだけでなく、商店街周辺の大型店を巻き込んで、イベント情報の相互広告掲載や協同販促事業などの連携事業を実施して、地域が一丸となって商業の活性化に取り組む。



「全日本ビールフェスタin津山の様子」

57

岡山県 津山市

つやま

津山市内5商店街

●できることからコツコツイベント

地元の関係者を巻き込んだ身の丈にあったイベント(全日本地ビールフェスタ、ガレージセール、津山一店逸品運動など)を継続的に実施し、身の丈を大きくしていく「にぎわい商人隊」の積極的な活動により、賑わいの創出に貢献。



「さんさん土曜市の様子」

58

広島県 三原市

みはらていじんどおり

三原帝人通り商店街

●福祉のまちへ生まれ変わろうとするバリアフリー商店街

郵便局跡地への社会福祉施設(ケアハウス)の進出をきっかけに医療関係施設が立地。さらに、空き店舗を活用した子育て支援施設も開設し、高齢者から子供まであらゆる世代が集う、地域コミュニティとしての商店街。



「風季舎 昌平本家(空き店舗活用事例)」

59

広島県 三次市

みよしほんどおり

三次本通商店街

●歴史・文化・自然をテーマにまちづくりを推進

歴史・文化・自然をテーマに「三次町歴みち協議会」を中心に町ぐるみで活性化に取り組む。「いにしえの里三次物の怪(もののけ)・でこ街道」として街並みを整備。5年間で空き店舗を活用して13店舗がオープン。今まで商店街になかった業種や購買層をターゲットにした店舗が開店。



「デニムDEどうもんデザインコンテスト の様子」

60

山口県 山口市

やまぐちどうじょうもんぜん

山口道場門前商店街

●市民との生活共同体への転換を目指す商店街

平成19年建設の“どうもんパーク”は、日々の生活に不自由させない市民のマチづくり拠点であり、屋上芝生広場には藤棚や砂場、子供の遊び場、また植樹や植栽が用意されている。販促事業である「デニムDEどうもんデザインコンテスト」は、商品づくりをととして消費者の嗜好を探る市民との共同作業である。



「地物の農産物直売所”萩の台所とれたて市場たまち”」

61
山口県 萩市
たまち
田町商店街

●地産地消の取り組みで観光誘客を展開

地産地消の取り組みで観光客誘致を展開。萩市内の農家から直接仕入れた野菜などを直売する農産物直売所「萩の台所とれたて市場たまち」や萩沖で捕れた魚や萩の地酒などを味わうことのできるレストラン「農家レストラン&居酒屋天蔵」により、商店街の賑わい創出と市民や観光客の交流の場として定着。



「買い物客で賑わう”徳島わくわく日曜市”、行列のできた鯉入り”とくしまバーガー”」

62
徳島県 徳島市
とくしましちゅうしんぶ こんやまち
徳島市中心部商店街(紺屋町歩道における朝市・日曜市実行委員会)
●中心市街地での朝市開催でにぎわい再生を目指す

何度も企画されたが実現に至らなかった朝市の開催について、県、市、関係者を巻き込んだ実行委員会を組織。中心部商店街(紺屋町通り)の歩道で日曜朝市を開催、空洞化しつつある中心市街地で地産地消、観光振興、商店街活性化を図っている。



「空き店舗を活用し、新鮮野菜、お総菜、民芸加工品を販売する”阿讃ええもんや”」

63
香川県 高松市
ときわちよう みなみしんまち たまち
常磐町・南新町・田町商店街
●高松南部の中心商店街からも目が離せない

大型店舗の撤退等により空き店舗が4割となった高松南部の商店街の活性化を目指し、まちづくりメンバー、地元アーティストが商店街、琴電、高松天満屋、香川大学などと連携・強化し、ソフト事業(4町パティオの整備、阿讃ええもん屋、アート系イベントなど)を中心にまちの活性化に取り組んでいる。



「四国中央ドットコムで行われているシニア・パソコン教室」

64
愛媛県 四国中央市
かわのえさかえまち
川之江栄町商店街
●お年寄りからお子さんまで、多世代が集まる商店街

空き店舗を活用し、多世代が和気あいあいと交流交流できる賑わい空間を整備。高齢者向け施設と子育て施設が合体した施設(「みんなの広場四国中央ドットコム」)は全国的にも珍しい取組。



「万々商店街イメージ・キャラクター”クマーマ”」

65
高知県 高知市
ま ま
万々商店街
●商店街のカラーを打ち出した「商店街統一販促活動」の推進と実現

商店街独自のカラーを打ち出すべく「商店街統一販促活動」を推進。学校・町内会・行政・関係団体はもとより、組合員である地元大型量販店と協力・連携して、お客様感謝デー「クマーマの日」並びに「スタンプラリー」などに取り組んでいる。



「それぞれのお店の手作りおすすめ品を詰めた”玉姫様の小箱”」

66
高知県 四万十市
しまんとし
四万十市6商店街(女性部)

●おかみさんの元気が商店街を元気に

四万十市6商店街のおかみさんが垣根を越えて結束。四万十のオリジナル商品の開発(玉姫様の小箱、美人のお守りなど)や買物情報の発信など商店街の活性化に向けた活動を展開。



「市民の「学ぶ力」と「考える力」そして「教える力」を育む六ツ門大学」

67
福岡県 久留米市
むつもん
六ツ門商店街
●人が「集まる」コミュニティ創り

誰もが安心して出かけることができる商店街。「街なか」ならではのゆっくりとした時の流れを楽しめる、人にやさしい街づくりをめざす。六角堂広場の集客力を軸に六ツ門大学やタウンモビリティなどの連携事業により、商店街に新たな人の流れが生まれ、商業者の自主的な取組の中、市民・大学・NP O法人などの様々なネットワークによるコミュニティ形成が図られている。



「一店逸品納品会の様子」

68
佐賀県 大町町
大町商店街

●大町町から一店逸品で元気発信

高齢者率30%の町。高齢者にやさしい商店街を目指すとともに、商店街の魅力向上を図るため、意欲あるメンバー同士が消費者の視点で互いに意見を交わしながら「一店逸品運動」に取り組み、「大町版逸品がばいよか」サイトにより地域の魅力を発信している。



「中国人観光客向け”銀聯(ぎんれん)カード”に対応した端末機」

69
長崎県 長崎市
長崎浜んまち商店街
●銀聯(ぎんれん)カード導入など国際観光文化都市の再生

長崎とゆかりの深い中国からの観光客を呼び込むため、中国色豊かなイベント(ランタンフェスティバル)や「銀聯(ぎんれん)カード」対応の端末機を商店街全体で導入し、商店街の活性化と国際観光文化都市の再生に取り組んでいる。



「対馬市交流センター」

70
長崎県 対馬市
対馬市交流センター
●市街地再開発事業で「国境の島」を活性化

(株)まちづくり蔵原が運営する「対馬市交流センター」は、地域住民のショッピングセンターと市民交流の場である公共施設を一体的に整備。また、韓国などの外国人観光客支援センターも設置し、観光客の誘致にも取り組んでいる。



「タクシー宅配を利用する人は一日40人から50人を超える」

71
熊本県
熊本市
けんぐん
健軍商店街

●少子高齢化に対応した医商連携型まちづくりの実現

少子高齢化に対応した医商連携型まちづくりを推進。「人にやさしく、地域に愛されるショッピングモール」を基本コンセプトとし、誰もが不自由なく買物ができる(タクシー宅配事業・電動スクーター貸出し・医療機関マップなど)次世代型まちづくりを推進。



中心街の集客プログラム「夜の竹瓦路地裏散策」

72
大分県
別府市
別府市中心部8商店街(NPO法人ハットウ・オンパク)

●点(店)から線(散策)そして面へ、参加交流型プログラムで活性化新展開

点(店)から線(散策)そして面へ、参加交流型プログラムで地域の活性化。再生途上にある別府温泉の中心街で、温泉(地域資源)を活用して、商店・飲食店・旅館ホテル・医院などのやる気のある事業主が連携して参加交流型のプログラムを企画・実施。この「オンパク・モデル」は、全国の中心街活性化手法として注目され、10地域に移植されている。



「毎週月曜日朝8:00から行われる早期ミーティング」

73
宮崎県
宮崎市
宮崎市内商店街(Doまんなかモール委員会)

●若手の情熱が繋ぐDOまんなかコミュニティ

宮崎市の中心市街地を維持、再生、発展させるため周辺の7商店街、5大型店の代表から構成される「Doまんなかモール委員会」は、各種の「活性化イベント事業」を通して組織の強化、販売促進、そして様々な人々が集う「Doまんなかコミュニティ」の形成を目指し、商店街の活性化に繋げている。



「賑わいをみせる軽トラ市」

74
宮崎県
川南町
トントロン商店街

●定期朝市「トントロン軽トラ市」

中心市街地を活用し、軽トラックの荷台及び軽ワゴンの室内を店舗に、「トントロン軽トラ市」を開催。農産物や海産物、特産品の販売を実施し、地域の魅力を発信し、商店街の賑わいの回復を図っている。



「提携する全国各地の商店街がお勧めの逸品を展示・販売する全国商店街連携物産展の様子」

75
鹿児島県
鹿児島市
うすき
宇宿商店街

●地域を巻き込む特徴ある企画をつぎつぎと実現させる小さな商店街の果敢な挑戦

連携をキーワードに全国商店街連携物産展、市電沿線商店街連携ツアー、大学との協働事業や2坪チャレンジショップ開設など地域密着型の企画を次々と展開。地域住民と一緒に事業を実施することにより小さな商店街でも量販店に負けない戦いができることを実証している。



「コザBOX」

76
沖縄県
沖縄市
一番街商店街

●商店街交流ひろば コザBOX

「商店街交流ひろば コザBOX」を設置、トイレ休憩スペースの整備と交流拠点の整備により、こどもたちとの協働でコミュニティの回復が図られつつある。



「銀天街まつりの様子」

77
沖縄県
沖縄市
銀天街商店街

●食とアートと交流でまちづくり

「食とアートと交流のまちづくり」を目指し、従来の惣菜を中心とした地域の台所としての機能に加え、若者やアーティストによるユニークな活性化に取り組むなど、独自の商店街再生を図りつつある。大型店にはない「まちぐわ〜」(市場)の雰囲気注目を集める。